

鬼平を演じて

本郷中学校では、文化祭で3年生全員による劇を発表しています。東京から劇団「らくだ工務店」の方々に来ていただき、指導を受け、3年生全員が大道具や小道具、衣装、照明、音響、記録、役者にわかれて一つの劇をつくるのです。

今年の劇は、「鬼平あらわる」でした。内容は、「不良達から金をせびられているマコトは、正義の味方でも現れないかと願います。そしたら本当に江戸時代のヒーローが現れちゃったからさあ大変！ ちょんまげ姿で腰には刀。さて、どうなることやら……。」というもの。その中で、私は、役者として鬼平役をやらせていただきました。大変なこともありましたが、次の場面がとても印象に残っています。

鬼平 こちらの世界は人間皆、腐っておるのでは？

マコト 腐ってるって？

鬼平 皆、自分だけが良ければそれで良いのか？

マコト そりゃそうよ、自分が一番大切なんだから。

鬼平 もちろん、自分は大切じゃ。だがなそれだけで世の中は成り立たん。人のために生きようとする者はおらぬのか？
この劇を通して、私は、いつかは鬼平みたいに悪い事は悪い



ってちゃんと見えるようになりたい、そう思い始めました。最後に、私のまわが、悪いことをしている人を見かけたら注意しあい、それぞれがみんな精一杯に輝けるまちであってほしいと思います。私も協力します。

わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します

—連載第8回—

意味ある活動



今年度の「ふれあい奉仕活動」は、素晴らしい行事になりました。「きれいな町づくり」について、しっかりと考え向き合う、よい機会になったからです。

三原市では、十月一日から新しく、「きれいな三原まちづくり条例」が制定されました。「条例が制定されるのは、三原市民がゴミの捨て方のルールをきちんと守っていないからだ。」という、地域の方の言葉は、私の心に強く響きました。そして少し情けなくなりました。



たし、地域の方が私達のことを気にかけ、支えてくださっていることも、肌で感じられたからです。

私はこの経験を機に、もう一度日頃の生活を見直していきたいです。そして、正しい行動ができる常識のある大人になりたいです。一人一人が気をつけ、きれいな町を作っていけたら、誰もが気持ちよく過ごせるはず。みんなで作る三原を作りたいです。